

1 教育目標

- 「明き心に」 清純にして高き理想
「深き心に」 学問の道を求めるたゆみなき努力
「堅き心に」 健やかな体と友情、団結心

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 普通科及び総合学科の併設校として、多様な教育活動を展開し、生徒一人ひとりの個性や可能性を伸ばすとともに、個別最適な学びの充実を図り、自己実現に向けた資質・能力の育成を目指している。
- ② 基本的な生活習慣の定着や規範意識の醸成が図られている一方で、主体的に学校生活に取り組むことに課題が見られる生徒も多い。
- ③ 部活動や生徒会活動、学校行事等を通して、主体的に参画し挑戦する態度や協働的に取り組む力を育む環境が整っている。
- ④ 令和7年度より、地域住民や保護者が学校運営に参画するコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の指定を受けている。地域振興及び地域防災を中核的な柱と位置付け、生徒・職員・保護者・地域住民等のウェルビーイングの実現を目指した教育活動を推進している。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図り、主体的に学び続ける生徒の育成を目指す。
- ② 基本的な生活習慣の定着と主体的に判断し行動する態度の育成を図り、豊かな人間性と社会で主体的に生きる力の育成を目指す。
- ③ 個に応じたキャリア教育の充実を図り、多様な進路に対応し、主体的に取り組む態度と社会的自立に向けた資質・能力の育成を目指す。
- ④ 誠実さや思いやりの心を育み、仲間と協働しつつ主体的に行動し、地域や社会に参画・貢献できる生徒の育成を目指す。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教育専門職としての自覚のもと、生徒の幸せを育むために、人権を尊重し、安心・安全を確保するとともに、一人ひとりに誠実に寄り添う。
- ② ライフワークバランスの実現を基盤として、心身の健康を保持し、活力と視野を広げ、人格の向上に努める。
- ③ 教育目標の達成に向けて、同一の方向性のもとで共通理解を図る。対話を通じて相互理解を深め、教職員が学び合う風土を醸成する。あわせて、個々の力量を生かしつつ、個々に依拠することなく、組織的に協働して取り組む。
- ④ 教職員一人ひとりが充実感や幸福感をもって主体的に挑戦（チャレンジ）し、その姿を生徒に示すことで、学校全体の学びと成長を生み出す。さらに、教職員の幸福感と生徒一人ひとりの成長が相互に高め合う好循環を確かなものとしていく。

3 今年度の重点目標

- ① デジタル技術の活用や地域・関係機関との連携により、主体的・対話的で深い学びの充実を図るとともに、キャリア教育を推進し、多様な進路に対応できる資質・能力の育成を目指す。
- ② 地域振興及び地域防災に関する取組の充実を通して、ウェルビーイングの向上を図り、心身ともに健やかで人間力のある生徒の育成を目指す。
- ③ 挨拶や身だしなみの定着、規則正しい生活習慣の形成を通して、自ら考え行動する力を育み、安心・安全で心豊かな学校づくりを推進する。
- ④ 教職員の業務改善及び働き方の見直しを推進し、持続可能で質の高い教育活動の実現を図る。